

基本施策Ⅱ

◆女性の活躍による活力ある農村社会の構築◆

- 1 農村女性の役割発揮と多様な地域住民の地域活動への参加の促進
- 2 あらゆる分野での社会参画の促進
- 3 農業・農村の魅力の再認識と内外への情報発信

現状と課題

現在、農村は農業従事者の高齢化や担い手不足により耕作放棄地が増え、農業の継続や、美しい農村風景の維持が課題となっています。

農村は、農業者だけでなく多様な職業の住民により形成されており、農業・農村を継続していくためには、農業者のみでなく、地域の様々な人が関わり、子育てや暮らしの助け合い、景観の保全など地域住民全体で取り組む必要があります。

また、地産地消の一環として、女性の感性を生かした食文化の伝承や、学校給食への食材提供活動が活発に行われていますが、活動を継続発展させるためには、将来の中心的活動を担う若い人材の育成や、農業者以外の住民参加を促す取組が求められます。

本県は、農村女性プランを全国にさきがけて策定し、女性の農業委員の割合は全国的にも高く、政策決定の場への女性参画が拡大しています。

社会参画に対する意識は個々による差がありますが、未だ固定的な男女の役割分担意識による、女性の社会的活動に対する家族や地域の理解が十分でないことが、本プランを策定するための意見交換会等の中でも取り上げられました。併せて、女性自身が意思決定の場へ参画し、社会の中で男性とともに責任を果たそうとする意識が不足しているのではないかという側面も課題となっております。

今後の地域計画となる「人・農地プラン」の策定には、女性の参画が求められているように、今後女性の能力を更に活かし発揮するためには、農村女性自身の意識改革や、女性の参画を後押ししようとする周囲の理解と協力が不可欠です。

農村は、厳しい状況を抱える一方で、Ｉターンの新規就農者や定年帰農者、更には都会から農村への移住者が点在するようになり、自然豊かで、様々なつながりを持つ農村に対して、魅力を感じる人が増えています。

また、都会での関心が深まり、農家ならではの良さを生かしたライフスタイルが見直され、グリーンツーリズムの取り組みも活発になってきています。そうした農業農村の持つ魅力や、食料の供給基地、自然環境保全等人が生きていくために欠くことができない大切な役割を果たしていることを広く発信することが求められます。

今後は、農村女性が一層地域における牽引役となり、活力ある農村社会を構築していくことが期待されます。

農村の良さを維持して
いこう。

Ⅱ 女性の活躍による活力ある農村社会の構築

Ⅱ-1 農村女性の役割発揮と多様な地域住民の地域活動への参加の促進

推進方向	取り組みの方向	具体的な方策
<p>①農業・農村の維持発展を図り、農村の暮らしを応援するため、農村で暮らす様々な人が参加する地域の相互扶助を推進します。</p> <p>農村文化を自ら楽しみ、子どもや移住者などに農村の魅力を伝えます。</p>	<p>①農村のつながりや助け合いの心で潤いのある暮らしの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村女性が牽引役となって農村に暮らす様々な人々の地域活動への参加促進 ・家庭や地域での助け合いや見守りで、子育てしやすい環境づくりや相互扶助の活動を推進 ・子育てを通じてこどもに農村の魅力を伝える取組 ・新規参入者や週末等を農村で暮らす二地域居住者等の地域での暮らしや定着を応援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな居住者を含めた、農村に暮らす方々との地域交流会の開催（市町村、農村女性団体） ・農作業の手伝い、伝統行事の体験等、子育てを通じた農村の魅力を伝える取組（農村女性団体） ・新規参入者・移住者の支援（県、市町村、JA、農村女性団体）
<p>②地域農業の活性化と食農教育の推進を図るため、地元産農産物の直売や学校給食等への食材提供により地産地消の推進、食文化の伝承活動を展開します。</p>	<p>②農村女性のグループ活動を通じた地産地消・食文化伝承の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の感性を活かした地産地消の推進 ・学校給食への地域食材の供給と食農教育の推進 ・農村の暮らしに根ざした伝統行事や食文化の伝承と健康的な食生活の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食への食材提供推進（県、市町村、JA、農村女性団体） ・郷土料理の掘り起こしや資料の作成（農村女性団体） ・伝統行事や食文化伝承講座の開催（県、農村女性団体）

セミナーを通して住民との交流

農村女性ネットちの

「農村女性ネットちの」は、「園芸産地の持続に向けて何か協力できることは？」と考え、消費者に地元農産物活用を促し農業の応援団になってもらうようにセミナーを開催しました。

その結果住民との交流ができ、地元食材への関心が深まりました。さらに参加された方数名とは今も同じ仲間で活動中です。



市内全小学校へ野菜を納入

飯山市農村女性団体連絡会 会長 三ツ野幸美さん

農村生活マイスターが中心となり、地域の女性を巻き込み、市内の8つの小学校と4つの保育園へ野菜を納入しています。

各学校で交流給食会や親子料理教室など子供達と交流し、食や農業の大切さなどを伝えています。



Ⅱ 女性の活躍による活力ある農村社会の構築

Ⅱ-2 あらゆる分野での社会参画の促進

推進方向	取り組みの方向	具体的な方策
<p>①女性の社会参画に対する意識の向上を図り、参画しやすい社会環境づくりを進めます。</p>	<p>①「女性の社会参画」に対する意識の向上と参画しやすい社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識改革を図るための、男性も女性も参加した学習の場の提供 ・地域の政策決定の場への女性の登用促進 ・地域計画づくりへの立案段階からの参画促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性も女性も参加した研修会の開催（県、市町村、農業委員会、JA） ・関係機関・団体への女性登用啓発活動（農業会議、JA、農村女性団体）
<p>②地域活動を担う人材の育成と、農村女性組織の連携による地域の課題解決に取り組めます。</p>	<p>②地域活動を担う人材の育成と自主的な活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村女性組織の連携と活動促進 ・農村生活マイスター等地域リーダーの育成 ・農村女性組織の連携、活動促進と次世代の人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・農村女性団体連携会議の開催（県・農村女性団体） ・農業リーダー等育成事業によるセミナーの開催（県） ・農村生活マイスターの認定（県） ・農村女性組織の交流・情報交換会の開催（市町村、農村女性団体）

農業委員として農政に参画

千曲市 田中まち子さん

切り花、野菜類で約35アールの農業経営に携わりながら農業委員として2期目、現在は長野県女性農業委員の会長野支部長を務めています。女性の地域社会参加を目指して、市長や市議会等へ女性農業委員の選出を働きかけ千曲市では現職3名、前は5名の女性農業委員が選出されました。

また、女性の地域づくりへの参画推進の取り組みとして、玉ねぎ栽培体験などの食育活動や、手打ちうどん・しょう油製造など地域特産品の開発・生産活動の中心となり、女性が活躍する社会環境を広げています。



地域の仲間とともに

木曾町 西尾禮子さん

女性農業者セミナーを受講して仲間づくりの大切さを知り平成6年に「こまくさ会」を結成し、その後、道の駅農産物直売所や、農産物加工組合「みたけグルメ工房」の設立に関わってきました。

木曾町農業委員（4期目）として、また農村生活マイスターとして“女性の声がこだまするむらづくり”をモットーに活動しています。



Ⅱ 女性の活躍による活力ある農村社会の構築

Ⅱ-3 農業・農村の魅力の再認識と内外への情報発信

推進方向

①農村女性自らが農業・農村の重要性と魅力を再認識し、発信する力を養います。

地域・世代・業種を越えた交流により、農業・農村の重要性と魅力をアピールします。

取り組みの方向

①農業・農村の魅力の再認識・再発見による積極的な情報発信

- ・農業・農村の魅力を認識・発見する機会の創出
- ・豊かな自然や文化に根ざしたライフスタイルを自ら楽しみ、魅力を発信
- ・生産者と消費者相互の橋渡し役としての情報発信
- ・農業・農村体験による都市と農村の交流促進
- ・農業に携わり生き活きと活躍する女性の姿を発信

具体的な方策

- ・農村文化・食文化等を伝える資料の作成と活用（農村女性団体）
- ・新規参入者・新規居住者・異業種との交流会の開催（農村女性団体）
- ・グリーンツーリズム・6次産業化の取組を活かした交流と情報発信（県、市町村、農村女性団体）
- ・インターネット等を活用した農業・農村の情報発信（県、市町村、農村女性団体）

農家に代わって農のこころを発信

宮田村 加工研究グループ「食ごころ」

農家の畑で収穫されたものはすべて食べることに結びつきたい……こんな思いから、平成24年、宮田学校給食を育てる会の中から加工研究グループ「食ごころ」を発足させました。

農家と学校給食の橋渡し（発注・精算・配達・一次加工）や農家と消費者の橋渡し（食農教育の企画、特産品開発、情報発信）を行っています。

忙しい農家に代わって農のこころを発信し、地産地消「食」で地域コミュニティを創ることが「食ごころ」の役目となっています。



交流と食文化の伝承

大町市 信濃大町お葉漬け隊

「信濃大町お葉漬け隊」は、NPO、観光関係者等が連携した活動であり、「お菜洗い&野沢菜漬込み」の体験を受け入れています。

「信濃大町のつけものや」は女性農業者による起業活動組織であり、日頃は、農業経営の傍ら地場産野菜を漬物に加工、販売していますが、この時は野沢菜漬けのインストラクターをつとめ、日頃培った技を発揮しています。

